

6月2日(第1回)

小鉢上げ



古い名札を再利用して番号札を作成

1.朝6:00スタート 今日土曜日、本葉が出る前に植替えしないと、発育不良の可能性があるので、休みの日に植え替えるしかありません。

まずは、昨晚作成しておいた番号札の確認
(ラベルプレートは他で使用済みの再利用)



発芽状況の確認

2.今日まで発芽した分の確認
5/26播種、1週間で数えたら、14/24株です。

播種状況では
1-①~1-⑫と表示しましたが、今後は1の1、2の2といった風に表示します。
(テプラでOでの数字表示ができないため)



発芽は14粒

3.再確認
1の1~1の12
燕牡丹 314
1の2、1の3、1の4、1の10、1の11 計5本
管弁流星獅子咲牡丹
2の1、2の4、2の5、2の6、2の7、2の9、2の10、
2の11 計 8本



順番に名札を差す。

4.一鉢ずつチェック
1株ずついいねいに見ていきましょう

発育状況は良



これはいかも!

5.ムムー!
これはひょっとして
変化の兆し?

葉は小さくてコウリ
みたい



拡大写真

葉の中央
に突起が
ある



6.これまたスゴイ。
今度は蝶のよう

変化の兆し？
葉が一番小さい



7



8.発芽が昨日で、
まだ状態は分
からない



9



10.葉が傾いてくつ
いている。
根が短かった

ちょっと期待



11



12.根の伸びが悪い。底から3cmは見えない
双葉は元気



13.これは水が足りなくて葉が巻いているのでは
ありません。
これも根が短い。



の写真は変化の兆し？！



14.写真の右下に「水に浮い」と見えるが、水に浮く種は発芽しないかも



15



16



17.まだ閉じたまま、早く大きくなーれ



18.さて、いよいよ小鉢上げ
他の種も早く発芽しろ～



19.使用する水は、お風呂の残り湯を冷まし貯えておいた水を使用。
他の植物は足りない分だけを水道水を使っています。
風呂場(窓の内側)から簡易ポンプ(¥980)でくみ出しています



20.さて、準備したもの

- 1.用土 : 赤玉(小粒)、鹿沼土(小粒)、腐葉土、ぼら土(小粒)
- 2.鉢底ネット : 使用済み(水洗いしたもの)を再利用
- 3.ビニールポット : 使用済み(水洗いしたもの)
- 4.防虫、防菌 : オルトラン ベンレート
- 5.剪定鋏、小枝切鋏、ピンセット、竹串、土入れ
土を混ぜるためのボール



21.土を混ぜる

- 赤玉(小粒) : 4
 鹿沼土(小粒) : 3
 腐葉土 : 1
 ぼら土(小粒) : 2

大体で今回は用土を作った。

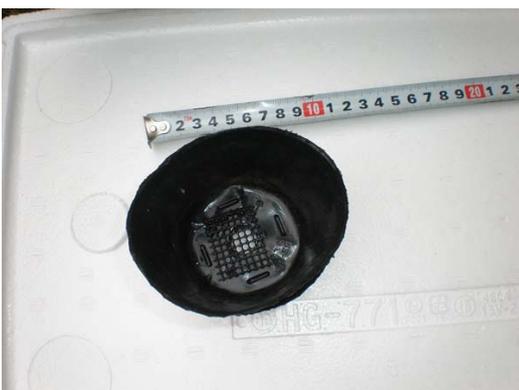
用土は自分がすんでいるところ、水のやり具合
日照などで、わが家では他の植物もだいたい
似たような条件です。



22.かき混ぜ終了

いよいよ、小鉢に上げる

写真の右側に見える
のは「土入れ」



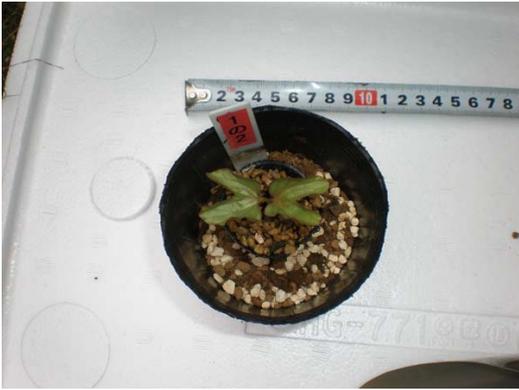
23.使用ビニールポットは、綺麗に水洗いし、乾燥させたもの
サイズは3寸(号)約9cmを使う。(園芸店でよく苗木を
売っているサイズ)

3号ポットは種の数(36)だけ水洗いしました。



24.鉢底に土入れで、ぼら土(小粒)をひく

ぼら土は入れなくてもいいと思いますが
水はけを考えて少し入れました。



25.ぼら土の上に用土を少しいれる。今回は主根の切ることはいしないで、そのまま1号ポットからできるだけ、崩さず植えつけることにした。

根が見えている場合はベンレート霧吹き
根切りをした場合は、殺菌のためスプレー
しますが、今回は、あまり使用しませんでした。



26.苗の空いたところに土入れて、用土を入れる
竹串で軽くすき込む。



27.オルトラン粒剤をパラパラとふりかける。



28.オルトランをまくと、なめくじやほかの虫も来なくなります。(他の植物で実証済み)



39.穏効性肥料を四隅におく。
通常、マグアンプを入れるのですが、1年草で、6ヶ月も
もてばいいので、安い分を使用。

このあと、残り13鉢を同じ工程で繰り返す。



30.14鉢が終わったら、順番に並べて、水やりをする。
ジョロでやさしく苗が倒れないように、静かに。

変化のある苗には注意書きを挿しておく
後々、状態変化のときに便利かも？



31.最後に3号ポット専用トレイをスーパーからもらって
きて順番に並べて第1回目の小鉢上げ完了

終了時間 9:30

【反省】

今回、段取りが悪く、あれ、ぼら土がない、オルトランがないなど行ったり来たりが多くて、時間がかかってしまいました。

次回は事前に準備すべきものを書き留めておき、チェックしながら作業を進めたいと思いました。

また、種を植え付けるのにどこまで種を入れたか分からなくなり、適当にいれたのが「1の1～1の12」です。
今後、同じポットから、発芽する可能性があります。

「2の1」以降は札をポットのわきに挿し、順番にいれたので、間違いはありません。

ミスして学習していくよりほかはありません。